



集落支援だより

みなさんこんにちは！

地域おこし協力隊集落支援担当の廣田です。

本年度もどうぞよろしくお願いたします！



地域おこし協力隊 集落支援担当
ひろた じゅんき 隊員
廣田 旬紀

改めて、 集落支援とは何か？

よく「集落支援はどんなことをしているの？」と聞かれます。抽象的ですが、私は「集落の伴走者」であることだと考えます。

人足や行事のお手伝いもしますが、そこがゴールなのではなく活動を通じて集落が抱える不安を「どうすれば解決できるか？」という前向きな力に変えていくことが本質です。日々の訪問や行事を通して皆さんと関係を築き、課題や未来について意見を交わす。その上で、行政や大学などの外部と協力したり、新たな仕組みや企画を提案したりと、皆さんとともに一歩を踏み出す。そうやって小さな達成を積み重ねることが、今の私の仕事です。

伴走の先にあるものは、決して「あきらめ」ではない。住んでいる皆さんが納得して、自分たちの未来を選択できる。そんな状態を目指して、日々活動しています。



▲黒沢自治区で行われた集落座談会の様子

集落座談会を実施

こうした小さな実践のひとつとして「集落座談会」を開催しています。

単なる会議ではなく、これまでの活動を振り返りながら、これから集落でどんなことに取り組んでいきたいかを話し合い、一人一人の想いを形にするための時間です。

例えば黒沢自治区では、サロン参加者の皆さんを中心に

呼びかけ、少しずつ対話の輪を広げています。今後は、話し合いの中で出た具体的なテーマをさらに深掘りして行動につなげるための分科会のような場も検討しています。こうした率直な意見を交わせる場を、これからも丁寧に作っていききたいと思います。

1年間の振り返り

あつという間に西会津へ来てから1年が経ち、2度目の春を迎えました。

包み込むような陽気、芽吹く山菜、水路を走る雪解け水、そして山を駆け上がる新緑。春だけでも好きなものがこんなに溢れています。振り返れば、こうした日々の小さな喜びが、何よりの原動力でした。

この1年は、私にとって「知る」時期でした。右も左も分からなかった私も、皆さんにさまざまなことを教わり、学ぶ日々の中で多くの知識や経験・生き方を蓄えることができています。

新集落支援員を紹介します！

さがわ かつみ
佐川 勝美さん

役場職員時代の経験を活かし、業務にあたります。



▲地区のバレー大会に参加させていただいた時の様子

2年目はその成果を日々の暮らしや仕事の中で、しっかりと発揮していければと思います。